

令和6年度 玉垣小学校 第6回学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和7年2月27日(木) 16:00～

2 場 所 玉垣小学校 図書室

3 委員長から

- ・ 今年度最後、学校関係者評価に加え、年間を通した意見をいただき、来年度に生かしていけるように。

4 学校長から

- ・ 1年間ありがとうございます。
- ・ 先週は、6年生を送る会でした。1～5年で6年に感謝の意を表す、1年を通じて最も心が温まる日。コロナ禍以降、全校が一堂に会しておこなった。6年生の笑顔が印象的。
- ・ 学校関係者評価にたくさんご意見をいただき、ありがとうございました。保護者、地域の声を反映させる目的もあるので、この後協議していきたい。

5 協議事項 (○：委員の発言、感想等 ●：学校からの説明、回答等)、意見交換

【学校関係者評価について】

- ICTの活用事例を見たい。どのような活用事例があるのか、研修してはどうか。
- ICT活用について、苦手な先生も授業で活用できるよう、ここ4～5年は職員研修を毎年複数回実施し、先日も自主的に研修を開いたところだ。うまく活用し、子どもに還元できるようにしていきたい。
- 「人のことを大切に想って聴く」の中でも、何を大切に思うのか。
- この目標は、どの子でも言えるくらい浸透していると思う。利他の心、他人の心・身体を大切にするから聴く姿勢ができるようになる。
- 読書冊数の根拠は。冊数以外のことが大切だと思う。
- 図書室の貸出数でカウント。冊数だけが全てではないことは学校も理解している。記録する内容や方法を考え、意欲向上につなげたい。
- 長期欠席の減少について、学校も(全国的な)人手不足でほんとルームを午後閉じている。ニーズはあるので、今後教育委員会とも調整していきたい。
- ボランティアの数が足りているかどうかは、回数だけでは判断しづらい。
ボランティアの数も少なく、どのようなことをするのかわかりにくいので、募集方法、発信方法の工夫、ボランティアの募集を学校と学校運営協議会の連名で行い地域と学校との連携を考えていきたい。
- 地域から「学校が大変なのはわかるが、地域で注意してもなかなかきかないので、どうしても学校に電話してしまう。」という声もある。
- 子どもを良くするのは学校だけではないので、まず見つけた人、地域で注意していただくことが必要だと思う。

- 自己肯定感については、高くすることだけに終始していない。学年によっても差はあるが、自分を否定的に捉える割合は昨年度より減っている。
- キャリアパスポートは何のためか。
- 全国で実施しており、将来の自分に向けて、今の自分の頑張り等を記録している。

6 教育委員会から

- ・ 中学校区の拡大協議会も含め、多くのご助言、ご協力をいただき感謝している。
- ・ 地域連携でも、いろいろなボランティアがいて、子どもたちの教育の一環として大きな存在。地域の人たちが協力していただくことで、子どもたちにも郷土愛、素晴らしい地区だと実感する気持ちを育む。

7 その他

- ・ 玉垣小学校は、この少子化の時代においてこの先もしばらく児童数が減らず、今後は市内でも最大の人数となる見込みである。それを見越して、手立てを講じていく必要がある。